

# 編集室

猫の額ほどの庭先に一本の紅葉モミジがある。ひよろひよろしていたそれが、20数年を経て幹もかなりの太さになり、狭い庭で自分の存在を訴えている。その幹に一匹の油蟬が止まっているのを見つけたのは、8月もそろそろ終わろうかというある日の昼下がりのことである。夏は何処へ行ったんだろうという今夏、その日は30度を超える猛暑だった。外出から帰

り、玄関ノブに手をかけ何気なく脇の紅葉に目をやると、それはじっと羽を休めていた。手を伸ばせば届くような近さで、鳴きもせず逃げもせずじっとしている。蟬そのものは珍しくもないが、我が家の紅葉を選んでもくれたこと、こんな近くに立っていても逃げずにいてくれることが嬉しくなって思わず声をかけた。

「おい、やっと夏が来たな」

家に入ってから気になり、そっと玄関を開けるとまだ彼女（だと思ふ）はじっとしている。だが、二度

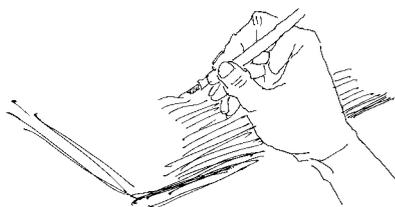
目に玄関から顔を出したときには、さすがに彼女の姿は消えていた。何処へ飛んでいったのか……。目を上げると夏の青空が広がり、電線の向こうで太陽がギラついている。でも、どことなくそのギラつきは弱い。彼女が運んできた遅かった夏も終わりが近いのかも知れないな。彼女が止まっていた辺りにもう一度目をやった。

後一月もしないでキャンパスに学生が戻ってくる。この夏、学生達はどんな想い出を作ったんだろうか。一回り大きくなってキャンパスに戻ってきて欲しいと思いつつ紅葉に背を向けた。

遠くで蟬が鳴いている。

（入試・広報センター）事務部長

尾留川一彦



## 表紙・絵



パステル画は、まるでメイクをするみたい。描き始めのうすい水色は下地クリーム。肌色のファンデーションを塗って、仕

か？

（文学部4年 菊地慧莉 II  
美術倶楽部CATS）

上げに白のハイライイト。モデルは男の子なのに黄緑のアイシャドーも入れちゃいました。サークル室で楽しく描いた雰囲気、伝わるでしょう



2003

秋季特別号

2003(平成15)年9月25日発行 No.182

発行 中央大学広報委員会  
〒192-0393  
東京都八王子市東中野742-1

〈編集担当〉

広報課 ☎0426-74-2146

印刷 泰成印刷株式会社  
〒130-0026  
東京都墨田区両国3-1-12  
☎03-3631-8141